

平成23年度の輸送実績（速報）

平成24年4月

1. 輸送概況

平成23年度は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により東北線と常磐線が被災し、東北線は40日間に亘って不通となったほか、常磐線は福島第一原子力発電所の事故の影響で復旧の見込みが立っていない。また、7月の「平成23年7月新潟・福島豪雨」、9月の大型台風の上陸に伴う大雨による被害が発生したほか、1月から2月にかけては北日本を中心に記録的な大雪の影響を強く受けた。これらの自然災害の影響を強く受け、年度全体では高速貨4,643本、専貨165本が運休した。このうち東日本大震災に伴う運休は高速貨2,650本、専貨86本であった。（平成22年度は、高速貨2,819本、専貨136本が運休）

荷動きについては、東日本大震災による線路の寸断に加え、東北地方の製造業各社の操業停止及びサプライチェーンの寸断による生産活動の停滞の影響を大きく受けた。さらに下期以降は、急激に進んだ円高の影響による販売減もあり、年間を通して前年を大きく下回った。

コンテナ貨物は、自動車部品、農産品・青果物が前年を上回ったものの、紙・パルプ、食料工業品、化学工業品等が前年を下回り、全体では前年比95.8%となった。自動車部品はメーカーが震災後の減産から増産体制へと転じたことにより大きく増送となった。一方、紙・パルプ、化学工業品等は、震災による生産拠点の操業停止及びサプライチェーンの寸断による生産低迷の影響を受け大きく減送となった。

車扱貨物は、石油、セメント・石灰石など全ての品目が前年を下回り、全体では前年比97.2%となった。石油は東日本大震災の被災地に向けた臨時石油列車の運転を行ったものの、製油所の被災に伴い減送となった。セメント・石灰石は台風12号による線路の被災により減送となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別	平成23年度		前年比
	本年実績	前年実績	
コンテナ	19,617	20,476	95.8%
車扱	10,221	10,512	97.2%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱別	品目	本年度実績	前年度実績	増減	前年度比
コンテナ	農産品・青果物	1,831	1,821	10	100.5%
	化学工業品	1,888	1,980	-92	95.4%
	化学薬品	1,450	1,529	-79	94.8%
	食料工業品	3,046	3,150	-104	96.7%
	紙・パルプ	2,625	3,109	-484	84.4%
	他工業品	1,576	1,576	0	100.0%
	積合せ貨物	2,040	2,124	-84	96.0%
	自動車部品	868	816	52	106.4%
	家電・情報機器	453	497	-44	91.1%
	エコ関連物資	340	353	-13	96.3%
	その他	3,500	3,532	-32	99.1%
コンテナ計	19,617	20,476	-859	95.8%	
車扱	石油	7,142	7,192	-50	99.3%
	セメント・石灰石	1,227	1,286	-59	95.4%
	車両	893	1,041	-148	85.8%
	その他	962	993	-31	96.8%
	車扱計	10,221	10,512	-291	97.2%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年度は速報値、前年度は確報値）